道路鋲(自発光式)の製作設置工事に関する特記仕様書

平成10年8月1日

1 目的

この仕様書は、横浜市内一円の指定する場所に道路鋲(自発光式)を設置する際の 材料の製作及び工事方法について定めることを目的とする。

2 種類

交差点鋲、停止線鋲、中央線鋲

3 材質及び形状

- (1) 本体の材質は、アルミニュウム合金鋳物、耐候性ポリカーボネット樹脂及びエポキシ樹脂で製作されたものであること。
- (2) 交差点鋲の表出部の形状は、円形(直径200mm以上~250mm以下)または四角形(各一辺の長さが200mm以上~250mm以下)とする。
- (3) 停止線鋲及び中央線鋲の表出部の形状は、円形(直径150mm以上~170mm以下)、四角形または長方形等とする。

4 構造及び性能

- (1) 電源は、外部電線が不要な太陽電池による充電方式等であること。 なお、電源部は鉛蓄電池及びニッカド蓄電池ではなく、回収規制のない無公害な 材料を使用すること。
- (2) 完全防水設計であること。

(JIS C0920 7級及び JIS D0203 S1に準ずるものとする。)

- (3) 交差点鋲の本体表面部等は赤色とし、昼間の視認性を高めること。
- (4) 発光体は、高輝度タイプのLED(発光ダイオード)点滅方式を採用しているも のであること。

交差点鋲の発光面は原則として4面とする。交差点鋲の形式は、正十字路交差点に対応できる正十字路交差点用(以下「交差点鋲」という。)及び変形交差点に対応できる変形交差点用(以下「変形交差点鋲」という。)の2種類とする。

停止線鋲の発光面は1面、中央線鋲は2面を点滅方式とする。

- ア 鋲の50m以上手前から発光体が視認可能であること。
- イ 点滅回数 ― 交差点鋲及び変形交差点鋲並びに停止線鋲にあっては対向する発光面が毎分約160±20回以上、中央線鋲は毎分約150回以上とする。
- ウ 発光時間 10msec (マイクロセコンド)
- エ 動作時間 ― 常夜(15時間以上)
- オ 点 滅 色 ― 赤色またはその都度指定する。

(5) 交差点鋲及び変形交差点鋲の地上設置高は、 $5 \pm 2 \,\mathrm{mm}$ とし、タイヤ乗り上げ時のショック軽減及び騒音防止を図ることができ、また、大型車両総重量の負荷に充分耐え得るものであることとし、更には、本体表面等に滑り止めの措置を講じたものであること。

停止線鋲の地上設置高は、路面と同一レベルとすること。

5 設置

- (1) 施工穴深さ 80mm以上~150mm以下
- (2) 施工口径
 - ア 交差点鋲及び変形交差点鋲の円形にあっては、直径200mm以上、四角形は 各一辺の長さが200mm以上とする。
 - イ 停止線鋲及び中央線鋲の円形にあっては、直径150mm以上とする。 (各鋲ともコアカッター及びカッター等使用)
- (3) 使用温度範囲 -20℃ ~ +70℃
- (4) 各鋲の固定剤は接着剤を使用すること。 (圧縮強度 J I S K 5 6 6 5 及び付着強度 J I S A 6 9 0 9 の試験またはこれと同等の試験に合格したものとする。)

6 提出書類

道路鋲設置者は、工事完了後、指定の書類(1号様式及び2号様式)を作成のうえ監督員に提出すること。

7 付則

- (1) 本仕様書は、平成10年8月1日から適用する。
- (2) 本仕様書に定めない事項については、監督員の指示を受けるものとする。

自発光交差点鋲設置管理表

LOT. NO

													_					
						4. 設置場所見取	図											
1. 品 名	品名 形式																	
	サイズ																	
	発 注 者 名																	
	施工者名																	
	施工責任者名																	
2. 設置状况 施工年月	管理表記録者名																	
	施工年月日	平成	年	月	日													
	設 置 場 所	神奈川県横浜市	j															
	整理番号		土才	下事務所														
	交差点目標																	
3. 設置完了写真(周	周囲の状況が確認でき	る写真でお願いし	ます。)															
								l			1							
							回数	年	月	日	保	: 守	点検	1 内 名	¥ 1	担	当	者
						5. 保守経歴												
						(注) 設置管理										∃ と		
	なりますので、できる限り詳細にご記入の上ご返送願います。																	

【自発光式交差点鋲の効果測定結果】

◎ 設置場所 (平成 年 月に設置)

	物 パ											(十)及	+	月に収回		
効果測定結果	法果 人身事故				事故	類型別(件	数)		当 事 者 種 別 (件数)							
					人×車 車 両 相 互											
	件	死	負	横	出	追	左	右	四輪	四輪	四輪	四輪	二輪	二輪		
効果測定期間	数	者	傷	断	合	突	折	折	×	×	×	X	×	X		
		, ,	者	中	頭		時	時	四輪	二輪	自転車	歩行者	自転車	歩行者		
設置前3ヶ月																
H 年 月					()					()	()		()	()		
~	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()		
H 年 月																
設置後3ヶ月																
H 年 月	()			()	()					()	()	()	()	()		
~ H 年 月	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()		
H 年 月																
4-4 441																
増減	()		()	()	()			()	()	()	()	()	()	()		
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()		
増減率																
増 / 一 一 一	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()		
		()	()		()	()	()	()			()	()	()	()		